みさきの Style

～ みんなでさんかくきっちりのびる

こどもがまんなか みさきの教育

文責：村田典子　　　　R6年12月23日号

後期前半、お世話になりました

　行事たくさんの後期前半でした。見学旅行、修学旅行、水俣に学ぶ肥後っこ教室、大津町児童生徒集会、チャレンジランニング（持久走公開）、学力調査等々、学校内外での動きも活発でした。11月には大津町教育委員会指定の「学力充実・向上」研究発表会も開催し、授業の様子を公開しました。

　子どもたちにとっても私たち教師集団にとっても頭も身体もよく動かし、その分成長できた後期前半だったように感じています。

　これらの活動が、単なる行事消化や一過性のものにならないよう、本校では振り返りをさせて、学びの足跡を残すようにしてきました。短い冬休みではあります。この時期は、ご家庭では年末年始のイベント等で賑わう時期かと思いますが、お家での役割分担を担うことや自分なりに課題を考えて学習に向かうなど、何らかの形で学びを続けてほしいと、全校集会ではお話をしました。

　12 月の授業参観後の学級懇談会で、各担任より挨拶があったかと思いますが、改めまして、本校の教育活動に対する温かいご支援、ご協力等に感謝申し上げます。皆さまのお陰で、安心・安全の中で教育を行うことができました。来年も宜しくお願いいたします。

　みなさま、よいお年をお迎えください。

おめでとう！

～熊本県読書感想画コンクール【特選】

森田小紬①　立石力樹矢②　吉﨑小夏②
熊谷尚哉②　江川悠詩④　山邉優紳⑥
三枝奈央⑥　※丸数字は学年

“町づくり” を考える ～共創の学び

　4年生が、社会科の「地域の特色」の学習に端を発し、大津町のことを学び、よりよい町を創るための探究的な活動を進めています。12 月17日から情報収集・整理の活動を行っていますが、毎回、保護者や地域の方がお助け隊として、「対話」しながら子どもたちの思考を引き出したり、まとめたりするお手伝いをしてくださっています。

　子どもたちは、各自の進度で学びを進めます。自力だったり、友だちと相談したり、お助け隊の方と対話したり…。子ども主体で学ぶ充実した時間が流れます。

　お助け隊の方からのメッセージをご紹介します。

　前回参加した時よりも、現実的かつ具体的な内容に変わってきたと感じました。大人でも思っていることを子どものうちから考え、行動に移そうとしていることはとても素晴らしいことだと思います。町など行政、大人たちも一緒になって参加し、よりよい町づくりができるのではとワクワクします。自分たち大人がすることで協力できることは互いに協力し合い、楽しい大津町をつくりたいですね！

1月14日（水）に発表会をします。子どもたちの提案が形になればいいなと思います。

変化に対応する力　私事ですが、この 12 月に孫が産まれました。里帰り出産で、娘が戻ってきています。生まれたての赤ちゃんを世話する様子は、諸々のベビーグッズをはじめ、授乳後のゲップのさせ方や、授乳の間隔、アプリでの管理等々、私が行ってきた平成一桁の育児とは異なることだらけで･･･。さらに、紙おむつが濡れたら、「ありがとう」というメッセージが浮き出る様子に、驚きと感動！変化に柔軟に対応せねば、と日々奮闘している新米ばあちゃんです。

〔タイトル写真：PTA 有志の皆さんによるクリスマス仮装(12 月 24 日朝)〕